

大分新聞

本社報道部
TEL (097)
536-2121

由布新聞

由布支局
TEL (0977)
85-3120

大分市の「すみれ学級」 大手メーカーに支援求め提供受ける

「生理の貧困」に救いの手

【大分】大分市中戸次の公益財団法人「すみれ学級」(藤井富生理理事長)は、同学級が運営する子ども食堂で小学4年〜中学生の女子児童・生徒に生理用品を無料で配布している。昨年度は延べ約360人が利用。経済的な理由などで生理用品を買えない「生理の貧困」が顕在化する中、救いの手を差し伸べている。

県内で調剤薬局などを経営する藤井理事長(74)が2018年



藤井富生理理事長 学准教授

8月、講演会に登壇した福岡県の大

から、国内でも深刻な「生理の貧困」の現状を聞き、「これはいかん」と行動に移した。生理用品の大手メーカーに社に支援を求める手紙を送ったところ、「GIP Place」(ジープレイス、本社・京都府)が無



運営の子ども食堂で用品配布

償提供を申し出たという。

すみれ学級は16年、子どもたちへの食事の提供と学習の支援を目的に設立。現在は大分、別府、豊後大野各市に計6カ所ある。生理用品は2カ月に1度、昼用や夜用など1人当たり3種類計4袋を配り、女子児童・生徒はほぼ全員が受け取っている。昨夏には鶴野小、戸次小、植田東中に計900袋を贈った。

子どもが生理用品を受け取った40代のシングルマザーから「コロナ禍で労働時間を減らされ、苦しい生活を強いられている。大変助かる」「生理用品は必需品。大きなプレゼントをもらったようで心が温かくなった」と感謝の言葉が寄せられたという。

藤井理事長は「生理用品を受け取りに来た女子児童の中には、恥ずかしそうにうつむく子もいる。無償提供は国際的な流れになっており、国が全面的に支援するようになってほしい」と願った。(坂本陽子)